

# C02班 トリチウムの透過漏洩と汚染・除染

## 汚染・除染

高濃度T試料調製  
除染実験  
(富山大, JAEA)

除染後のT濃度分布・  
飛散率・放出T化学形測定  
ハザード評価  
(富山大, 静岡大, 東大)

ITER, DEMOへ  
除染目標設定指針提言  
トリチウムの化学反応  
機構モデル(東大)

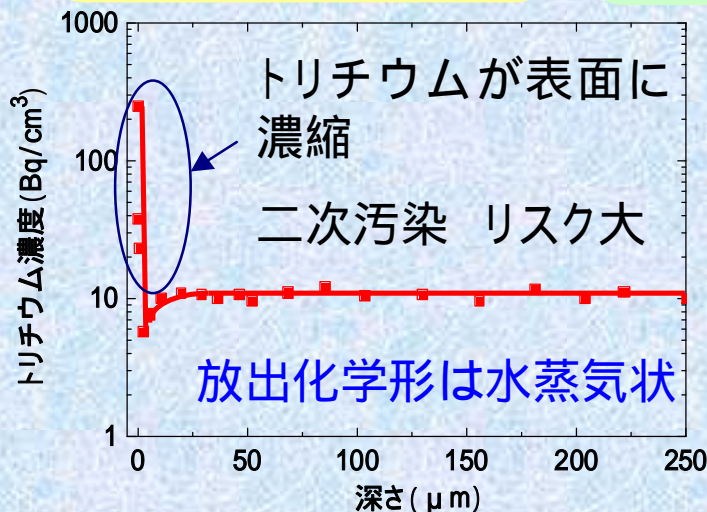
## 透過抑制

低透過率材料の探索  
(表面改質・被覆)  
(富山大, 静岡大)

トリチウム透過実験  
透過T化学形測定  
(富山大, 静岡大)

低透過率実現 (~ 1/1000)  
(富山大, 静岡大)  
透過モデリング(東大)

総合してシステム外への漏洩を低減



← 高濃度汚染SS316ステンレス鋼中のT分布  
平均濃度だけでは危険性を予知できない  
(濃度分布、放出化学形の把握が不可欠)

透過の場合も表面汚染・放出化学形は重要

ステンレス鋼で培ったノウハウを他の構造・  
配管材料およびプラズマ対向材料へ応用